

プレスリリース

九州大学／早稲田大学合同シリコンバレー研修会

2009年3月9日

九州大学カリフォルニアオフィス

所長 松尾正人

九州大学 CA オフィスはこのたび第 4 回目の **QREP(Kyushu University Robert Huang Entrepreneurship Program)**が成功裏に終了したことを発表した。

QREP は九州大学を卒業し、米国で大成功をおさめた **Robert Huang** 氏の寄付金及び同窓生からの寄付金を活用し、九大の学生に対するチャレンジ精神や国際性の涵養を主目的として実施されるプログラムである。起業家精神、移民文化、国際的ハイテクビジネスのメッカであるシリコンバレーにおいて 1 週間の研修を行うもので、**SV** の一流起業家、リーダーやビジネスマンからの講演や同世代の大学生等との交流を通じて自らのキャリア形成を考え、また、新たなことにチャレンジする意欲を高めるきっかけを作ることを目的にしている。

今回の **QREP** は、女子学生 10 人を含む、学年も専攻も違う九大生 21 人と早稲田学生 5 人が 1 週間寝食をともにし、講義と会社・大学訪問を行った。到着日には卒業生との交流会が開かれ、**SV** 在住の両校卒業生 10 数人が参加した。学生たちは 18 人の講師と 23 人のパネリストの話を聞き、9 人のスタンフォード大生と交流した。会社訪問はグーグル、**IBM**、アプライドマテリアル、などを含めて 6 社に達し、サンフランシスコ市内見学やサンノゼでのショッピングの経験もした。最終日には、20 数人の講師やゲストの前ですべての学生が一人ひとり自分の感じたこと、考えたことを発表し、多くの感銘を与えた。

九大 CA オフィスの松尾正人所長は、「これで 4 回目になるが、学生に多くの経験をさせようと相当な努力をして毎年準備をしている。今年もそうであったが、毎年の最後の成果発表は感動的なものであり、“人生について考え直したい”、“日本にはわからない大切なものを得た”、“自分で考える大切さがわかった”、“日本を外から見ることが出来た”、“何かをなし遂げたい”などそれぞれの思いが自分の言葉で熱く語られた。これを聞いて、また来年もやろうという力が沸いて来るのです」と語った。

